

## 令和7年度第1回小佐野公民館運営審議会開催結果

日 時 令和7年5月22日（木）10:00～11:00  
会 場 小佐野公民館2階小ホール  
出席者 黒田委員長、佐々木委員（釜石中校長）、松本委員（小佐野小校長）、吉田委員、  
長谷川委員、山田委員、金濱委員 ※委員全員出席  
まちづくり課：佐藤課長、小池主査  
小佐野地区生活応援センター：森下保健師、小職

◇佐藤課長及び黒田委員長挨拶（略）

◇議題に入る前に、新委員の松本委員（小佐野小校長）に佐藤課長から委嘱状交付

◇議題について、事務局から資料に基づき説明（略）

委員長）事務局から1から6まで事業報告がありました。何か質疑とか、説明不足だなと思ったところはありませんか。

課長）3ページの上から二番目のこども食堂の日程は7月13日という予定のようですが、確かに参議院選挙は7月20日が今一番濃厚なようです。ただ、3連休の真ん中にやるのはどうかという国民の声もあり、13日に前倒しになるかもという話も出ています。どちらかになるのは間違いない。学校の体育館を借りる都合等もあると思うので、所長の方で、選管含め関係者で連携を密にして、こども食堂の日程調整をお願いします。

事務局）本当にやりたいのは7月27日。しかし県から待たがかかりました。ダムイベントを予定しており、お客さんを取られたくない、と。

委員）本当は19日の予定でした。しかし選挙もあり、ダムイベントもあって、何日かまだよくわからないということになると、チラシを作るのもちょっと難しい。

課長）分かった時点で早く所長の方にも連絡したり、所長の方も選管と話を進めるように。

委員長）ダム見学とこども食堂を合致させてもいいような。私も何度か行っているが（ダムに）、たいしたことはやっていない。

委員）ダムは、小川の子はやっぱり近いし、小佐野の子とかも結構行くとは思いますが、毎年大体やることは同じ。新しいイベントがあればこっちに行きたいかなというのものもあるだろうし。かぶるのはやっぱり県も避けてほしいのだろうと思う。こっちだって避けてほしい。

課長）子どもたちが夏休みの宿題として、巣箱や本棚を作り、それでもう宿題に替えようとしている。あとは釣りもやれる。子供たち、中学生も含めて行く可能性はある。

委員）ダムは結局親が送っていかなきゃならない。中学生ぐらいなら自転車で行くかも。とにかく早めに、こども食堂の日程を固めたい。

漢字の講座、学童の方にも関わっているのでお聞きするが、1年生から6年生までだと、習う漢字にだいぶ幅があるわけで、対象学年とかはどうなるのか？

事務局) 何年生が来ても大丈夫。どの学年が来てもみんなが楽しめる内容となるよう、講師は準備するそうです。

課長) すごい職員がいる。こんなの見たことないというような。

事務局) 漢字検定1級を目指しています。準1級は取っています。

課長) 4人ぐらいの岩手県のグループがあって毎月だか二ヶ月に1回か、盛岡のマリオスで漢字についての研究等をやっています。かなりコアな集まりで、当人もかなりコアな職員。漢字の成り立ちについて、例えば子供さん向けにこの漢字はこういうのから成り立ったとか、もう本当に分からないような四字熟語、これって本当に日本語か？みたいなのを取り上げて講座を開いたりして、内容がすごいし、好評だったみたいです。業務よりも面白いです。ケーブルテレビで取り上げたこともあるが、その職員が出てとても評判の良い内容だった。仕事そっちのけでというか、もうそっちが主になっているような感じ。

委員長) 6ページの釜石の昔を語る会というのは？仙台のNPOから映像は借りられるの？

事務局) そちらでもいくらか持ってはいるが、釜石全般の映像だったりするので、小佐野地域に限ったものを集めようとしています。

物置き等にしまったままだとか、映像を持っている人がいれば、貸していただけないかと。それをデジタル化してDVD等に取り直し、もちろん原本は返しますし、DVDに取り直したのもお渡します。これを無料でやります。

委員長) NHKのアーカイブは持ってないかな。

委員) せっかくなので公民館だよりに書いてお願いしては？持っている人がいるかもしれない。

事務局) もちろん書きます。

委員) 写真でもいいのか？

事務局) 写真もOKです。スライドショーのような形になります。

委員) 小佐野にも野球場があった。写真は出て来るかも。

委員長) 今の薬王堂のところにもクラブがあった。中妻にも小佐野にも映画館があった。

課長) 三年ぐらい前に、釜石中学校の生徒さんたちが地元学の事業で小佐野地区の昔を知っている人たちのところに出向き、いろいろと教えられました。

委員) 昔、映画館で赤胴鈴之助を見ました

課長) 今、この階段に釜中生がまとめたものを掲示してあるが、昔のことに触れている部分もあり面白いものになっています。

委員長) 11月の公民館まつり、1日だけの開催って、人が足りなければ応援頼めばいいわけで。要は去年私もパーティション運びをしたけど、そういう準備に時間かかるんだよね。肉体的に限界だったけどね。

委員) それに関わって11月15日土曜日ですが小佐野小フェスティバルという毎年やって

いる行事があるので、できたらそこは外してもらえたら。

事務局) 公民館まつりはその前の週かなと考えています。

委員長) 個人的には一日というのはどうなのかな。

事務局) 住民が喜ぶのは2日間開催。去年の一日半のうち、同じ団体が3ステージやったりもしました。毎回内容も違ったし、盛り上がりましたが、お客さんの中には「出過ぎでは？」という人もいました

委員長) 結局練習していれば、人前で発表したくなるもの。藤沢さんは張り切り過ぎかもしれないが。個人的にはやっぱりどうせ準備するのであれば一日じゃなく、職員の皆さんに負荷がかかるだろうけどもやっぱり2日がいいのかな。

委員) これ片付けにも時間かかるじゃないですか。

事務局) 週明けに緩やかにやってもいいものです。

委員長) 全応援センター長を動員させればいいんですよ

事務局) 既に手伝いに出向いたり、来て手伝ってもらったりもしていますし。

委員長) 個人的には やっぱり一日じゃ短いだろう。

課長) 今年11月22、23日にはTETTOで海と希望の学園祭という市の大きいイベントがあり、その前という話だからまあいいかなと思いますが、あとでご説明しますが、その日は外してもらえればなど。22、23日、その辺もしかすると小学校とか中学校さんにもイベント内容にもよりますが、ご協力の依頼とか恐らく出る可能性もあります。

事務局) いつものフォーラムとは違う？

課長) 違う。東京大学の副学長が直接釜石に来ていろいろなお話とか、まあそれだけじゃないですけども。それにちょっと街づくりも絡めて。

委員) 前の日の21日、釜中1年がこれに関連して参加する行事がある。11月8日は県の総合防災訓練だったはず。

課長) そうですね。訓練は今年釜石会場で全市的にやるはず。

今年の10月26日は仙人マラソンですね。イベント関係、あと今年は岩手県の公民館大会というのがあり、何十年に1回の盛岡開催に当たっている。全国大会である。次回はまだしばらく先、みなさんはもういないかもしれない。各県持ち回りでやっており、おそらく委員さんの動員の可能性があります。10月の最終の木金だったはず

委員長) 釜石の取り組みを発表するにはいい機会だけどね。いろいろな行事があるので、中妻所長とよく日程を打ち合わせて(公民館まつりは)。

事務局) 出演団体が偏ったりしないよう、うまくプログラムを組めるなら2日間開催でもいいと思います。

委員) 昨年2日間どちらもは来られなかったが、みんな楽しんでいる感じは伝わりました。

委員長) 子ども食堂に中学生ボランティアも来てもらってよかった。

委員) 東梅君もこの頃難しいので(ボランティア募集)。

委員長) 実施計画についてご質問は他にありませんか。実施できるっていう方向で事務局の

方にはご尽力いただきたい。

委員) コラボ事業については中妻 C からもやって欲しいと来ています。一応担当者の方にも話をし、文化祭に来られない人にもどこかの会場で、数が多いので厳選するかもしれないが、子供たちの作品を発表して他の人に見てもらう機会があればいいなと考えていました。そのときはこちら側からお願いすることになるかなと思っていました。

もうちょっと詰めていきたいと思います。

総文についても何とかやりたい。吹部の出演についても楽器の運搬とかあるのでその辺は協力を得ないといけないかもしれない。父母さんたちが調整すればいいのだが。大きな楽器は運ぶのが大変なので、チューバとかドラムセットとか、多分担当者は考えると思うが。事前に分かればやってみたいと思っています。

委員長) 全体的に見て事業計画についてご質問ご意見ございませんか？ないようですので協議の(2)その他について、何かございませんか。

課長) 実は今年度、市長の施政方針演説で、本のまちプロジェクトというのをやることになり、市の主要事業として広報にも載りました。具体で何をやるのか。まず生涯学習を持っているまちづくり課が担当することになりました。いろいろ関係機関とも今話しています。まず応援センターが主でできることは、小佐野は図書館がすぐ近くにあるので一律にはいれないが、例えば栗橋とか唐丹といった遠いところに住んでいる人で、図書館又は巡回バスから本を借りたが返却予定日に返せないという場合に、**応援センターで返却**を受付けます。わざわざ図書館まで来る必要がなくなります。貸し借りまでできればいいのですが、貸すのはまだちょっとハードル高いので、だんだんに考えます。

次に、どこの応援センターにも図書コーナーがあります。部屋があったり、棚だけだったりしますが。小佐野みたいに一部屋があるのは他にはない。そういう場所に昔の古い図鑑を置いていても、もう誰も見ないと思うので、まずそこを整理しましょう。時代遅れの図鑑等は一旦撤去して、そこに皆さんに見られるような、借りられるような本を**整理・分類**して、子供コーナーとか、小中学生向け、高齢者向けというように種類分けしてきちんと整理したいと思います。

とはいうものの、中まで入って来たい気分させるような工夫も必要になるので、例えばカウンターのところは何冊か**お勧めする本を展示する**とか、そういうのを応援センターでやっていきます。窓口が大きいところもあれば小さいところもあるので十把ひとからげにはできないが、例えば今月のおすすめ本を書店から紹介してもらい、窓口付近に並べて置いて、そこで見てもいいし、そこで貸してもいいというようにして、図書館にはない本を応援センターに置いて、貸し借りは自由として、やって行きたいと思います。

あとはリユースですね。やっぱり図書館でも寄贈はあるんですが、同じ本が五冊も六冊も寄贈される場合もあるそうです。予備含めても二冊ぐらいあればいいので、残りの三冊は結局廃棄せざるを得ない。年間何百冊っていう本を今の状況だと廃棄していると言う。な

ので、それを応援センターで欲しいところには、所長たちに見てもらい、引き取ってもらおうというリユースの事業もやりましょう。図書館ではなく、応援センター（公民館）の本の場所を充実させましょうと言うものです。あと一つは、公民館だよりとか、広報も協力すると言われてますが、市内の本屋は事実上3社（及新、桑畑、さわや）で、そこの連携も取らなくてはならないので、〇〇書店の**今月のお薦め・紹介コーナーを掲載**するということで、書店とも協議中。応援センターは各だよりに掲載するという、この五つぐらいはできるかなと思う。

イオンの中の2階、着物屋さんの向かいあたりに市のスペースがあり、今回そこに子供の遊び場ができる予定です。こども家庭課と協議して、そこに本コーナーを作り、例えば親御さんと子供が来て寝転がって本読んでも良いし、コーヒー飲みながらそこで本読んでもいいというスペースを入れてもらうことにしました。ある程度の数の本が必要なので各地区の公民館だよりで、地元の住民の皆さんに寄付、寄贈のお願いを出して、応援センターでまず集めてもらいたいと思います。ただあまり破損がひどいものとか、汚れがひどいものは受け入れませんが、ある程度の本は受けて充実させていきましょう。

海と希望の学園祭のところでは、多読賞といって、毎年図書館の本をいっぱい読んだ子供の表彰をやっているんですが、それをもうちょっと大きくして、その学園祭で市長賞とか教育長賞とかやっていけたらいいなと考えています。

ポイントカードも考えていて、ただ読書だと借りた人しかメリットがないので、例えば書店で買った人は一ポイントじゃなくて三ポイントつけましょう、図書館で借りた人は一冊一ポイントにしましょうとか、そういうポイント制にしたら面白いんじゃないかという話も出ています。表彰式も検討中。桑田書店さんや甲子中学校ではビブリオバトル（詳細不明）をやっているようなので、もっと広げて市内で大会を開いてもいい。学園祭では副学長さんが来て講演するが、それだけだと難しい話だけなので、例えば誰か本に関わる人とセッションしてもらおうということも、検討中。

盛岡の肴町ではスモールなんとかっていう、ちょっとした小さい入れ物の中に本を置いて、買うのではなく、そこに読みたい本があったら勝手に持っていってもいいという事業をやっている。中田薬局さん、病院などからも協力すると言う話が来ている。

本当はJRの釜石駅にも置きたい。釜石線で花巻まで行くのは長い。例えばそこに、寄付された単行本置くから、見たい本があったらそこから持ちだして読んでいいよ、返さなくてもいいよ、というのをやってみるとかいろいろ考えました。

他に、今考えている途中ですが、学校や地域にもお願いする部分も出て来ると思うので、よろしくをお願いします。

なんか子どもさんの本ってなかなか捨てられず、実はいい本がうちにあるよという場合もあります。そういうのをどしどし出してもらおうかなと思っています。あとは本だけじゃダメなので、本に関係したポスターを、例えば子供たちに書いてもらって、喫茶店や街中にアピールできるような、街中美術館じゃないですけど、そういうのもやっていきたい

と思います。考えれば考えるほどいろんな案が出てきますが、まず今年度はできることからやりましょう。

釜石で働く外国人も増えてきたが、やっぱり知らない土地に来て、皆さん寂しいんだそうです。池袋の中央図書館は、住民票のある外国人の国の本を全部そろえています。すると、寂しくなった時に図書館にさえ行けば、自分の国の本が読める、漫画が読める、そういうコーナーを設けたりもしている。釜石で今増えている外国人は、中妻の SMC さん、水産加工の方たち、あと大学の子供達ということなので、池袋のようなこともできればいいかなって思っています。朝 9 時に開いて夜 9 時まで開館し、窓口だけは委託、それ以外の事務は 2 人ぐらいずつ交代で残って対応している。外国人が仕事後でも見れるとか勉強できるような、そういう体制を作っている。釜石はまだそこまではいけないと思うが、そういう外国人の方との交流も公民館事業の中で、今年はちょっとお願いしようかなと思っています。本のまちというのは、既にたくさん本を読んでいる子供たちだけでなく、大人や外国人まで含めて考えていければいいなと思っています。すみません、よろしく願いいたします

委員長) 市民ホールも考えてみましたか？

課長) はい。市民ホールにも置いてもらえないかという話はしています。喫茶店や商店街の方にも声かけたら、雑誌は普通の週間雑誌等は結構あるけど、単行本や小説みたいなのは確かに置いてない。置いて、見てもらって、長い時間いけば飲むコーヒーが二杯に増えればいいとか、そういう話をする店主さんもいるので、商店街ともうまくやっていければいいなと思います。よろしく願いします。

委員長) 漫画本でもいいの？

課長) はい。その中央図書館は、ドラえもんだだけで四カ国分のドラえもんがあります。韓国語とか、なんとか語っていう。ドラえもんは結構海外でも人気だが、他にも多言語の漫画は結構ある。大人の外国人の方がそういうのを見て、いろいろと祖国を思い出したりするのだろう。漫画もいいと思います。

委員長) 今、佐藤課長から説明がありました。何かアイデアがあれば、遠慮なくまちづくり課長に電話してください。

課長) いやセンター長に言ってもらえれば、うちの方に話はきます。

委員) 管理は誰が？

課長) 応援センターで貸し借りしたやつはセンターをお願いします。健康チャレンジポイントの時のカードを参考にして、図書館でも書店でも使えるようなカードを準備し、管理にも生かしたい。図書館では本の貸し借りの件数を押さえていると思うので、反映できるようにするとか、考えたい。学校の図書室で借りるのも、件数は押さえられるのか。そういうのも加算していけるようだといいいのだが。一番システム化すればいい部分だが、難しいとも聞いています。

担当課主査) 書店も絡んでくる以上は図書カードの形がいいのでは。優秀賞に追加してつけ

て、また本を買ってもらう流れになるような。

委員長) アナログで、ハンコがたまった実感を得るのもいいかも。

課長) 結局、図書館に来る人たちしか、本のまちというのに関われない。移動図書館車から借りるのも、その数は少ない。図書館のある小佐野界限の子供たちが、どうしても借りる冊数は多くなってしまいますので、不公平が生じないよう全体的に見る必要もある。学校の先生たちが意外と本をいっぱい持っていたりします。今年退職された先生から、うちに山ほどあるから取りに来てとも言われています。いろんな種類の本があれば面白いと思います。

この後、特に意見もなく閉会した。